

災 害 救 護 速 報

平成 30 年 7 月 8 日（日）18：00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
TEL：03-3437-7084/FAX：03-3435-8509

※内容・数値等は、随時更新されます
※下線部は前回速報からの追加・変更箇所

平成 30 年台風第 7 号および前線等による大雨災害にかかる日本赤十字社の対応について（3）

日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 日本赤十字社の対応

（1）体制

○支部災害対策本部等を設置し、情報収集等の活動を実施している支部（6日～）

- ・第1ブロック（宮城県支部）
- ・第2ブロック（東京都支部）
- ・第3ブロック（福井県支部、愛知県支部、岐阜県支部、三重県支部）
- ・第4ブロック（滋賀県支部、京都府支部、大阪府支部、兵庫県支部）
- ・第5ブロック（島根県支部、鳥取県支部、岡山県支部、広島県支部、愛媛県支部、徳島県支部、高知県支部）
- ・第6ブロック（福岡県支部、佐賀県支部、長崎県支部、大分県支部、熊本県支部）

○本社

- ・第1次救護体制を発令（6日 17時 10分）し、救護・福祉部職員を中心に情報収集、連絡調整を実施。
- ・第2次救護体制を発令（8日 06時 51分）し、情報収集、連絡調整を実施。

（2）救護班等の活動

7月7日(土)

○広島県支部

- ・広島赤十字・原爆病院 DMAT（1チーム）坂町にて現場活動。（7日 2時 25分～）
- ・広島県災害対策本部へ支部職員 1 名を派遣。

○岡山県支部

- ・岡山県災害対策本部へ支部職員 1 名を派遣。

○香川県支部

- ・香川県支部救護班へ待機命令。
- 高知県支部
 - ・高知県支部救護班へ待機命令。
- 本社
 - ・広報要員として本社職員1名およびカメラマン1名を広島県支部へ派遣。

7月8日(日)

- 兵庫県支部
 - ・隣県の岡山県支部の支援依頼により、日赤災害医療コーディネートチーム1班及び救護班(姫路赤十字病院)1班を岡山県へ派遣。日赤災害医療コーディネートチームは高梁市、救護班は倉敷市真備の二万小学校で活動を実施。
- 岡山県支部
 - ・岡山赤十字病院の医師1名、支部職員1名を倉敷市保健所へ派遣し、活動調整を実施。
 - ・岡山県支部救護班(岡山赤十字病院)1班を岡田小学校へ派遣し、活動を実施。
- 広島県支部
 - ・救護班(広島赤十字原爆病院)1班が坂町小屋浦小学校避難所に救護所を開設し、活動を実施。
- 鳥取県支部
 - ・支部職員1名を岡山県支部へ派遣し、支部支援を実施。
- 香川県支部
 - ・支部職員1名と防災ボランティア1名を岡山県支部へ派遣し、支部支援を実施。
- 本社
 - ・初動要員(本社職員4名、医療センター医師1名)を岡山県支部へ派遣。(14時55分)

(3) 物資関係

避難所等に避難されている方々に対して、救援物資を配布。

拠出支部	品目				拠出先	日付
	毛布	安眠セット	緊急セット	タオルケット		
岐阜県支部		117		87	下呂地区	7/5
		42			飛騨市地区	7/7
	400				高山市地区	7/7
京都府支部	70		12		宮津市地区、亀岡市地区	7/7
鳥取県支部	300	25	30		鳥取県庁	7/7
島根県支部	500				岡山県支部	7/7

岡山県支部	3,410		6,300		津山市等	7/7
広島県支部	1,000				庄原市役所	7/6
	100		60		安芸高田市地区	7/7
愛媛県支部	200		60		大洲市	7/7
高知県支部	200				奥物部ふれあいプラザ	7/7
福岡県支部	60		228		久留米市地区	7/8
合計	<u>6,240</u>	<u>184</u>	<u>6,690</u>	<u>87</u>		

2 気象の状況（7月8日 15:30 消防庁）

- ・前線が西日本から北日本にかけて停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んでいるため、大気の状態が非常に不安定となり、前線活動が活発な状態が続いている。また、前線は西日本では8日夜にかけて次第に北上する見込み。
- ・西日本と東日本では、広い範囲で記録的な大雨となっており、各地で土砂災害や河川の氾濫が発生。高知県、愛媛県及び岐阜県では、8日未明から明け方にかけて1時間に約100ミリの猛烈な雨を断続的に観測。

3 人的・建物の被害状況（7月8日 15:30 消防庁）

都道府県	人的被害			住家被害				
	死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
岐阜県			<u>2</u>			<u>7</u>	<u>9</u>	<u>80</u>
京都府	<u>1</u>		<u>6</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>9</u>	<u>27</u>	<u>313</u>
大阪府			<u>1</u>			<u>8</u>	<u>4</u>	<u>23</u>
兵庫県	<u>1</u>		<u>6</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>8</u>	<u>14</u>	<u>188</u>
奈良県		<u>1</u>				<u>1</u>	<u>1</u>	<u>20</u>
和歌山県			<u>1</u>				<u>12</u>	<u>100</u>
鳥取県						<u>1</u>	<u>6</u>	<u>88</u>
島根県							<u>30</u>	<u>13</u>
岡山県	<u>3</u>	<u>7</u>	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>3</u>	<u>10</u>	<u>290</u>	<u>279</u>
広島県	<u>27</u>	<u>9</u>	<u>14</u>	<u>4</u>		<u>48</u>	<u>147</u>	<u>244</u>
山口県	<u>3</u>		<u>6</u>	<u>1</u>		<u>5</u>	<u>5</u>	<u>40</u>
徳島県						<u>3</u>	<u>2</u>	<u>5</u>
香川県			<u>5</u>			<u>5</u>		<u>3</u>
愛媛県	<u>18</u>		<u>10</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>2</u>	<u>706</u>	<u>320</u>

高知県	<u>1</u>	<u>1</u>			<u>1</u>	<u>2</u>	<u>26</u>	<u>28</u>
福岡県	<u>2</u>		<u>17</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	<u>56</u>	<u>283</u>	<u>637</u>
佐賀県		<u>2</u>	<u>5</u>			<u>1</u>		
その他	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>21</u>	<u>3</u>	<u>1</u>	<u>19</u>	<u>11</u>	<u>177</u>
合計	<u>57</u>	<u>22</u>	<u>101</u>	<u>23</u>	<u>20</u>	<u>185</u>	<u>1,573</u>	<u>2,558</u>

4 災害救助法の適用（7月8日 内閣府(防災担当)発表資料）

標記災害により、多数の者が生命または身体に危害を受け、または受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としていることから、全国で7府県45市29町2村（高知県は4市1町1村、鳥取県は1市9町、広島県は9市4町、岡山県は12市4町1村、京都府は6市3町、兵庫県は9市6町、愛媛県は4市2町）に災害救助法が適用されています。



現場へ向かう広島赤十字・原爆病院 DMAT チーム



情報収集を行う広島赤十字・原爆病院 DMAT チーム



広島赤十字原爆病院救護班が坂町に到着



小屋浦小学校避難所で活動する医師